

例会報告：2013年1月29日（晴れ）第1783回年通常例会

◆ ビジター

松本 俊輔様（小田原RC）

◆ 会員誕生日

金山 慶昭さん（2月4日）

◆ 結婚記念日

鈴木 進さん（2月3日）

◆ 奥様誕生日

辻村 佳子さん（1月29日）

鈴木 愛子さん（2月3日）

◆ ニコニコ箱

金山 慶昭委員

	ニコニコ箱	累計	目標
1月29日分	24,680	632,180	1,300,000

*ビジター

松本 俊輔様（小田原RC）…今年もよろしくお願ひ致します。

*会員誕生日

金山 慶昭さん…お誕生日のお祝ひありがとうございます。もうすぐ59才になります。

*結婚記念日

鈴木 進さん…2月3日が結婚記念日と家内の誕生日が重なる記念すべき日となります。お祝ひの日となり、気持ちだけをニコニコへ入れさせていただきます。

*奥様誕生日

辻村 彰秀さん…奥様誕生日のお祝ひありがとうございます。妻もお花を楽しみにしております。

*その他

次年度執行部（露木・須賀・金山・木村）…2月から次年度会長・幹事会が始まります。それに先立ち、次年度執行部会議をスタートしました。よろしくお願ひします。

鈴木 友徳さん…今日は「私の10代」を話させていただきました。よろしく御願ひ致します。

小林 泰二さん…1ヶ月程休んでしまい、今年初めての出席です。よろしくお願ひ致します。

清 康夫さん…1月5日（土）当社、フジミ全社員にて小田原城址公園の清掃を8時半より1時間行いました。今年度で第15回目となり、公園もきれいになりました。10時より祈願をし、昼より懇親会を楽しく行うことが出来たので、少々。

久保田知子・須賀俊和・柳井渉・木村頼弘・大川久弥・須藤公司・小楠雅昭・井上丈二・桜井康二さん…太田さんの友情に感謝をして。ありがとうございました。



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■ -2013年2月-

- ▶ 6日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「クラブ・協議会」
- ▶ 7日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「安藤 昭様・富士屋ホテル社長/観光業を取り巻く状況と 当社経営資源の集中」
- ▶ 8日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：深澤 昌光会員・(有)深澤旅館」

- 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」
- ▶ 11日(月) **小田原** 休日休会
- ▶ 12日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「田代 恭子会員」
- ▶ 13日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「小田原RC小川 勝久会長/交換留学生のあれこれ」

小田原城北ローターアクトクラブ マロニエ 201号室19:30 「G S Eについて」

- ▶ 14日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「松浦 秀敏会員/自己紹介」
- ▶ 15日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：佐藤 泰文会員・青谷山福泉寺住職」

- 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」
- ▶ 18日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「クラブ・フォーラム/国際奉仕委員会」

- ▶ 19日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「澤田 君雄会員」

- ▶ 20日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「会員卓話」

- ▶ 21日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「小林 悟様/相洋高等学校和太鼓部顧問」

- ▶ 22日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「クラブ・協議会」

- 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」

【小田原城北ローター・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：48名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



- 【R.I. 会長】
田中 作次
- 【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
- 【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



- 【会長】小嶋 章司
- 【副会長】中野 明
- 【幹事】久保田 知子
- 【副幹事】大川 久弥
- 【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1784回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2013年2月5日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 国歌斉唱「君が代」 ローターソング斉唱「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：菊地 義雄会員 卓話：高野 聡子様 TOMTOMマネージメントアシスタント 「日本人の精神性」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

寄稿

ロータリーの目的の本質は奉仕の理想の実践 責任の受諾である
クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕（今は新世界奉仕で5大奉仕）クラブ奉仕とは、ロータリーを知り、仲間を知り、例会に出席し、会員強強に関心を持ち、良きロータリアンに成る修練の場を提供する。
しかしロータリーは奉仕をする団体ではなく、奉仕の仕方をおしえてくれる団体だと佐藤千寿のPGは言っております。重要な要素は親睦である。親睦を深めるには寛容の精神が求められる。ロータリーが100年以上続いているのもポールハリスの寛容の精神あったからこそである。
寛容とは心が広く、良く受け入れる事で、親睦と奉仕はロータリー車の両輪であると理解するべきであります。
又寛容とは、こんな言葉もある。先ず自分自身が頼りない不完全な人間である事を自覚、その上で利害得失を離れ、良心の命ずる所に従う。それから先は、来る者は拒まず、去る者は追わず。

河野 秀雄

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

2月12日 通常例会 12:30
担当：国際交流/アラリヤプロジェクト
卓話：永井 壯茂様/小田原市役所経済部管理監
「報徳の森プロジェクトについて」

2月19日 通常例会（クラブ・フォーラム） 12:30
担当：指導者育成委員会
卓話：石崎 孝委員長
「私の考えるロータリー」

2月26日 通常例会 12:30
担当：プログラム委員会
卓話：菊地 義雄会員・中村 維孝会員
「私の10代」

3月5日 通常例会 12:30
担当：国際交流プロジェクト
卓話：未定
「未定」



例会報告：2013年1月29日（晴れ）第1783回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

ニコニコ箱

小嶋 章司 会長



ニコニコ箱は世界中見渡すと制度のあるところない所があるようです。シカゴのロータリークラブが1919年頃に団体奉仕を強制的にやった時期がありました。身体障害者の養護学校を設立するために、クラブで寄付を一人ずつに強制的に頭割りして割り当て、それを幾度となく繰り返したために、クラブのメンバーは怒り始めました。「我々はロータリーの会費は払う。しかし会費以外に強制的に寄付をとるとはなにごとか・俺たちはそういう寄付はしないよ」と断ってしまったことがあったそうです。この頃が決議23-34の原因といきさつではないかと私は思います。

それから、あくまでも任意で「出したい人が出したいときに、出したい額だけ出す」しかもそれは、善意にもとずいて喜び事のあったときだけ出そうじゃないかという原則を作り出しました。ロータリーチェストファンドというのを作って、これがアメリカに於ける最初のニコニコ箱が出来上がった物語です。

日本はどうかといいますと、東京クラブが関東大震災で孤児になった子供達を東京多摩川園に連れて行こうとなったそうです。ところが、東京クラブというところは個人としては大金持ちが沢山いるのですが、クラブ自体の財源がありません。さて、どうしようかということになったとき、日本橋のラシャ問屋の上村伝助商店の関さんという方が、ボール箱を首からぶら下げて「あなたの所お孫さんが生まれたでしょう」「お嬢さんが結婚したでしょう」などというんなことを言いながら会員の周りを回りました。皆はニコニコしながら、なにがしの金銭をだしたそうです。その結果600円のお金が集まったそうです。その当時（昭和10年）大学出の初任給が60円・いかに金満家が多かったかと思えます。

これが日本におけるニコニコ箱の始まりだといわれております。それから関さんが何かあるごとにその箱を持って回ったのですが、東京ロータリークラブの理事会は、いつまでも品の悪いボール箱でもあるまいと、三越に恵比寿の像を彫った木箱を作らせたのが第1号のニコニコ箱で、今は恵比寿像も剥落（はくらく）しているようですが、その箱は今も東京クラブで使われているそうです。昭和5年にはじめた大坂ロータリークラブのほうが早いという説がありますが、こちらは遅刻したからとかメークアップが出来なかったからとかどちらかというと罰金の要素があったようです。



❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)2月のロータリーレートは1ドル88円です。
2)来週定例理事会がありますので、理事の方はよろしくお願ひします。

❖ 出席報告

安藤 克己委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
1月29日	49(46)	39	1	86.96%
1月23日	49(43)	23	4	62.79%
1月15日	49(45)	36	0	80%

【欠席者】 7名

須賀 俊和、石橋 徹、須藤 公司、小楠 雅昭、大川 裕、木村 頼弘、小林 和彦

【今回MU】 1名

木村 頼弘 (1/23 小田原城北RAC)

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 増加なし

❖ 委員会報告

ロータリー財団増進委員会・・・守屋 善男委員

会員方のご理解のもと本日より寄付を集めさせて頂いております。あと何名かおりますが来週でも結構ですのでよろしくお願い致します。また本日ベネファクター申請を鈴木進さん、小川和夫さん2名の手続きを終わらせて頂きました。心から御礼をさせていただきます

❖ Table Flower

- チューリップ
- スイトピー
- ホワイトレース
- フロリダ

チューリップの花言葉は、「博愛」「思いやり」「名声」
スイトピーの花言葉は、「ほのかな喜び」「優しい思い出」
ホワイトレースの花言葉は、「可憐な心」「細やかな愛情」



❖ 卓話

「私の10代」
鈴木 友徳 会員



私は昭和10年6月15日足柄上郡山北町山北453番地-1、鈴木家の17代目として生まれました。学校は昭和16年山北町立川村国民学校、それから相洋中学、小田原高校、成城学園と行きました。小学校の時の思い出というと、まず食べ物が無かった。私の所では全部小作に出してしまっていたため田んぼが無く、あるのはみかん畑だけでした。そのみかん畑に芋を作っており、毎日里芋とさつま芋という生活でした。

そして昭和16年12月8日、太平洋戦争が勃発しました。はじめは連戦連勝で良かったのですが、ガタルカナルで負けてから連戦連敗になり、山北でもビルマで鉄道を引くために御殿場線の線路を片方持って行ってしまったため、空いたトンネルに武器弾薬がしまわれていたため、それを狙って米軍が襲って来ました。

それに伴い私の所の郵便局が燃えてしまいました。戦後になり、えらいインフレになり郵便局を建てるのに、今日釘1本が1円で買えたのが、明日には1本10円、そして100円というような時代ですから、田んぼや山を売っても追いつかず、最後には姉のピアノを売ってお金をつくりました。

そんな生活をしていたのですが、戦後の農地解放で田んぼが720円、みかん畑が680円で取られほとんどなくなってしまいました。小学校の時代は戦争中ですので、疎開で露谷虹児という挿絵画家一家が私の家に転がり込んで来て、昭和29年までおりました。その後挿絵画家は時代の流行に乗り、えらいお金が入る時代になりました。その子供が私の同級生と1級上と2人いたのですが、上の「たつお」というのは小田高で陸上競技をやっており、100mを12秒3で神奈川県で優勝しました。4年浪人して東大に行き、NHKに入りカメラマンをやりました。弟の「ただし」は小田高から東京芸大に行き、その後ポーラ化粧品にデザイナーで入り、ポーラ化粧品の入れ物などの80割は俺の作品だというようなこと言っていました。2人ともに生涯付き合える友達が出来たことはこの年になってありがたく思います。

中学の時にマミヤシックスを買ってもらい、途端に写真のきちがいになり、高校、大学とずっと写真ばかりやっており、プロになると思っておりましたがプロにはなれず、なぜなのか自動車屋になりました。他には考古学が父親が好きだったので、中学時分から発掘で色々な場所に連れて行ってもらったので、考古学も好きになり、家の裏の山で発掘したら縄文の石器が大分出てきて、これは面白いと思い、これも生涯の趣味となりました。また囲碁も父親を見ていたら覚えちゃい、高校を出て大学に行ったら新宿の碁会所で腕を磨こうと思っていたのですが、写真と麻雀に明け暮れ、結局碁はやりませんでした。しかし50歳を過ぎてまた始めたのですが、才能が無く3段止まりです。色んな道楽が重なっておりますので、お蔭様でこの年になって暇をつぶすのに事欠かないという事は非常に幸福だと思います。



本多 純二会員

私の10代と言いますと、昭和31年から41年までの経済成長で一番日本が伸びている時に10代を過ごしました。

時代的な背景を言いますと、昭和31年売春防止法が制定されました。それが実施されたのが昭和33年3月で、いわゆる赤線が廃業になりました。その頃僕は小学校6年位で、私が住んでいた井細田は当時商店が多く、夕方のなると商店の定員のお兄さんたちが3、4人集まっでは賑やかに何処かに出かけて行くのです。それが赤線に行っていたのだと分かったのは20歳過ぎでした。昭和34年には現天皇陛下がご成婚という事で、その頃はまだテレビもまだそんなに普及され

ておりませんでしたので、結婚式の状況を見るという事で、テレビを買った家庭に近所の人が集まって見たという記憶があります。その1年後家にもテレビが入り、その後3種の神器（テレビ・冷蔵庫・洗濯機）を各家庭が導入していきました。僕が中学2年の時、昭和35年に驚いた事は、安保の問題があった時のことです。学校の帰りに頭の良い同級生が「本多安保の事どう考える」と聞かれ全く意味が分からなかった僕は、同級生がそんなことを考えているのかと思うととてもショックでした。

高校へ行く昭和39年にはオリンピックが開催され、オリンピック景気で日本は良くなっていきました。そのちょっと前には新幹線が開通し、同級生と小田原の駅に行き入場券を買ってホームに出て200キロ位で通過していくのが怖かったと共に感動しました。そんな時代背景の中、僕の10代を過ごしました。元に戻りますが、小学校5、6年の10歳の頃、字が下手で塾通いをしておりました。しかし好きじゃないので上手くならず、2年で辞めてしまいました。あまり好きではなかったのですが親に言われ絵画にも行っておりました。思い出にあるのは6年生の時に写生の時間があり、クラスの中で評価をするのですが、僕の絵が1等に選ばれたのはうれしかった記憶があります。それともう一つ塾に行っておりました。それがそろばんです。そろばんは良い事があつたり、悪い事があつたりと一番思い出されます。4年生の頃から通い始め6年に入る頃には2級の免許を貰っていました。6年の頃には1級の免許を取りに行こうと6年の末位に行こうとした2日前位から風邪をひいてしまいすべてしまいました。

次は頑張ろうと中学の時には塾でも8割方合格するようになり自信を持って行ったのですが、また運が悪く受験した城山中学で僕の机がガタガタ動く席で足でこらえていたのですが伝票計算の際足から手に神経が行ってしまい、その伝票計算が10点ほど足りずに1級が取れませんでした。しかしそろばんでの良い思い出は、白山中学全校でのそろばん競技大会で個人総合優勝をとりました。担任の先生からも褒められ、校長先生からも表彰されとてもうれしかったです。学校の成績の事を言うと、家に2つ上の兄がおりまして、早生まれなので3年上になりますので僕が中学になると兄が高校に行くという状態でした。その兄が全校で1、2番という成績優秀だったため、僕も先生から注目されていたのですが、全然ダメでコンプレックスに陥りました。その当時テストの結果が200番位まで張り出されたのですが、忘れもしませんが僕は103位でした。僕の年代で550名位いましたので103位だったら良いんじゃないかなと思います。高校に入る頃には通信簿の成績は60位位でした。兄は小田原高校に行きましたので僕も小田原高校に行こうと思っていたのですが、父親が「お前は時計屋を引き継ぐのだから商業高校へ行け」と言われたので、城東高校へ行く事に決めました。そして城東に行きまして成績の方は3年の頃にはクラスで2番か3番で、全校でも10番とかそのくらいでいられたので良かったのではないかと思います。3年の時には生徒会に立候補したのですが女性票は取れたのですが、男性票が少なく次点ということでした。そして高校を卒業して大学には行かずに親父の仕事を引き継ぐ事を決めました。そして家の仕事を引き継ぐ時に父親が家を建て直してくれまして新しくお店を造ってくれまして非常にうれしい思い出でした。技術の方は高校の頃から時計の修理などは手伝わされていたので出来たのですが、メガネの技術を覚えたくて松田の愛隣堂に働きに行きメガネの技術を教わりました。そして家に戻って来て今の営業を続けているという、これが大題私の10代の話です。

